

—サンシュユ(山茱萸)—



写真1 花

(東京理科大学植物園)



写真2 果実



写真3 生葉

(東京理科大学生薬標本室)

2023/5/17, 10/13 撮影

学名：*Cornus officinalis* Siebold et Zucc

科名：ミズキ科

属名：ミズキ属

見ごろ：3～4月（花）、11月（果実）

産地：中国（浙江，安徽，河南，山西，陝西，四川省など）

性状：落葉小高木。葉は対生で単葉、裏面で葉脈が隆起し、脈腋に黄褐色の毛がある。果実は偏圧された長楕円形で長さ1.5～2 cm、幅1 cm、表面は暗赤紫色から暗紫色、光沢と粗いしわがあり、真果を抜き取った裂け目がある。一端にがくの跡、および他端に果柄の跡があり、質は柔軟である。弱いにおい、酸味があり、ときに僅かに甘い。

成分：イリドイド配糖体(loganin、morroniside など)、有機酸(gallic acid、malic acid、tartaric acid、ursolic acid など)

薬用部位：偽果の果肉（サンシュユ）

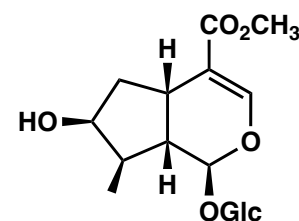
効能：肝腎を補う・生殖能力を高め強精する

主治：腰膝の疼痛、めまい、耳鳴り、遺精、陽痿、頻尿、虚勞により悪寒発熱があるもの、消耗性発汗の止まらないもの、心機能不全により脈の乱れたものに使用される。

配合処方例：八味地黄丸、牛車腎気丸などの6処方

特徴：和名の「サンシュユ」は中国名の「山茱萸」に由来していて、「山に生えるグミ」の意味。

このような由来からヤマグミとも呼ばれている。民間薬としては、強壯を目的として使用される薬用酒が簡単に作ることができ、親しまれている。



loganin

新訂生薬学 改訂第9版 木村孟淳・酒井英二・牧野利明編集 南江堂

[サンシュユ | 植物図鑑 | 大阪市立長居植物園 \(nagai-park.jp\)](http://nagai-park.jp)

[サンシュユ/新常用和漢薬集 | 公益社団法人東京生薬協会 \(tokyo-shoyaku.com\)](http://tokyo-shoyaku.com)

2023.5.22 4YP S.T